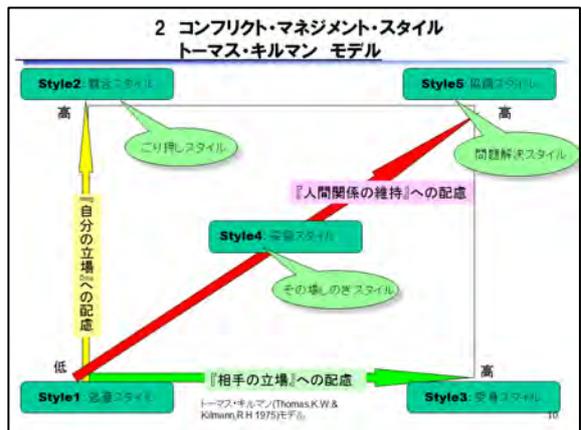
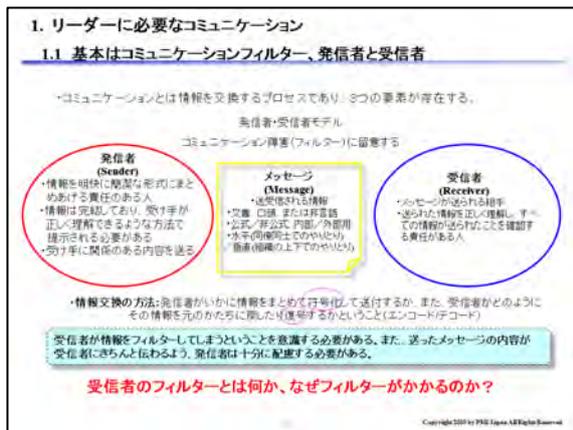
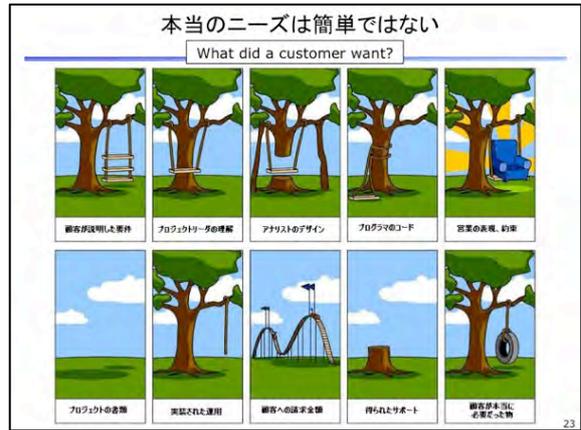
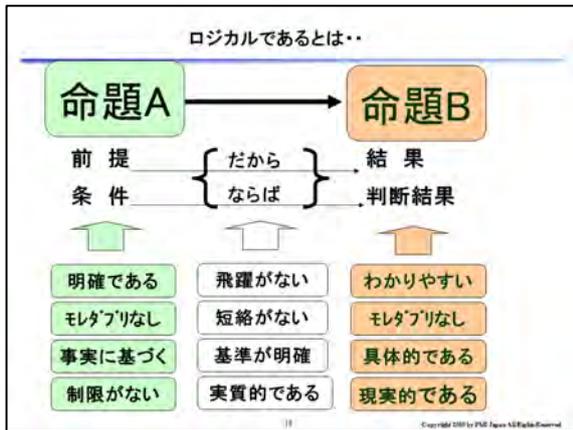


3.4.2 リーダーシップ特別講義

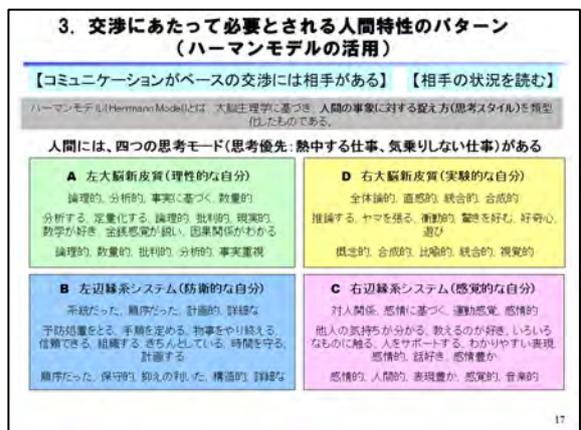
リーダーシップは、目標を実現するため、関係者の力を最大限に引き出し、プロジェクトを成功に導くための行為である。これを行うための目標(夢)、志、価値観、役割、機能(旗振り・指示、盛り上げ、仕組み等)を学ぶ。実際のリーダーシップの事例等を取り上げる。



ステークホルダー：戦略的リレーションシップ・グリッド

高い 関係の 重要度	③LOSE/WIN あえて負ける交渉をする	⑥WIN/WIN 新たな価値創造によって 双方が確実に勝つ
	②DRAW 損得を平等に分け合う	⑤WIN/Perceived WIN 譲ったと思わせながら、勝つ
	①LOSE/LOSE あえて交渉しない	④WIN/LOSE 勝つために交渉する
低い	低い	高い
		結果の重要度

出典「戦略的交渉力」



3.4.3 ITソリューション特論

パッケージソフトウェアとしてはオフィス業務のために Word、Excel 等のオフィススイーツが普及しているが、各種の業務ソリューションのために ITS(課題管理)、BPM、CRM、コラボレーション等、業務のベストプラクティスの実装としてのパッケージソフトウェアが存在する。これらを効果的に活用し、低コストのうちに業務効率を劇的に改善するために、ITソリューションの概要と、各種ソリューションソフトウェアの特徴、事例等を学ぶ。

事業アーキテクト

- 従来の仕組みを改革し、当該成長産業分野の加速度的成長を実現する
 - マネジメントとIT技術等の破壊的技術を活用し、イノベーションを誘発し、産業の新陳代謝を引き起こすべく、事業開発を効率・効果的に実行し、生産性・付加価値を高める。
 - 事業開発として、実際に描いた戦略を自ら事業の構築、運用までを実現できる。
- 《修得する知識・スキル等》
 - 戦略（経営、マーケティング、リーダーシップ、スタートアップ等）
 - 技術（IT、製品開発、デザイン、マネジメント等）
 - 当該分野の業務知識・現状・課題
 - 各種のメソッド及びITツール（課題管理、CRM、コラボレーション等）
 - 法規・倫理
 - 事例研究及びPBL（Project Based Learning）

6

ベストプラクティス

- ある問題を解決するための**最良の手法・事例**等のこと。
 - 反復等によって、効率的・効果的に問題解決が図れることがわかっている手法等。
 - ある基準によって、最優秀の評価を受けた手法等。
- 既存の業務を調査し、設計した業務の**標準手続き**
 - これらを特約的に類似業務に強いることで、理論上、類似業務の問題の解決を効率的に実行し、結果的にコスト削減、業務効率の削減を実現する。
- こうすれば、うまくいくという**勝ちパターン・コツ・戦略**等
- 各自のまわりにベストプラクティスは存在するか。

25

パッケージソフトウェア

- いわゆる**ベストプラクティス**の集約として設計・実装
- 多くの利用者が使うことを想定し、必要とされる機能をまとめ、設計及び開発が行われる。
- 各利用者の細かい要望への対応は困難であるが、概ね足りることが多い。
- 開発コストをすべての利用者で分担するため、利用者が払うコストは安い。
- ベストプラクティスをソフトウェアとして実装することで、ベストプラクティスの普及が実現する。
- 例 → 文書作成（Word）、表計算（Excel）、給与計算等

26

Wired: Open Source Everywhere

- コレラ治療の例
 - 米WIRED誌2003/11号「Open Source Everywhere」
 - <http://www.wired.com/wired/archive/11.11/opensource.html>
 - 背景: コレラの問題は発展途上国では依然としてシリアスである。
 - 現在の治療は、高価であるが、高いスキルが必要であるが、発展途上国は貧しく、医療スキルが低い。
- オープンソース現象・群衆の叡智
 - ネット上の協働 = 参加者相互の触発 → アイデアの連鎖反応
 - 低コスト・訓練無しの新システム（ベストプラクティス）が産まれる。
 - 問題解決（素晴らしいインパクト）及び満足感（自分の生きた証）

36

急性期脳梗塞治療支援の例

- 脳梗塞等では、病院到着から治療開始までの時間、いわゆるDNT（Door-to-Needle Time）等の短縮が喫緊の課題である。
- IT技術を効果的に活用することで、脳梗塞等の緊急を要する治療の**DNT短縮を安定的に実現**する。
 - ベストプラクティスの例: 小倉記念病院の「t-PAスクランブル」
 - 脳梗塞治療のDNT（t-PA投与）の場合: 約90分 → 約30分
- さらには、この取組みの事業展開・普及によって、**脳卒中医療水準の均等**への貢献を狙う。
 - t-PA投与ができる病院数: 日本で約500病院（2015年段階、日本）



37

cybozu

ITソリューション特論3-サイハウス[®]1 サイボウズとkintone[®]について

サイボウズ株式会社
コラボレーション・エバンジェリスト
佐藤学



3.4.4 事業アーキテクチャ特論

観光・医療・物販・農業・スポーツ等、次世代成長産業の現状を学ぶ。事業開発・事業改革のため、各次世代成長産業分野の現状として、IT・マネジメントの活用、業務効率、課題等を俯瞰的に理解し、事例研究型科目での展開をはかる。

GFResearch shift the rules of the game

技術企業の競争環境変化 ICTと自動車産業のコンタクト

2016年5月
GFResearch LLC
京田良輔
www.gfresearch.com
ryosuke.izumida@gfresearch.com

自動運転覇権をめぐる競争—今〜未来

アップル vs 自動車メーカー

アップル: エンジン, データセンター, サービスプラットフォーム (iOS, App Store, コンテンツ配信), OS, SoC, ハードウェア (ディスプレイ, センサー, 通信チップ, 半導体製造工場)

自動車メーカー: エンジン (Tesla, SolarCity), データセンター (Intel, ARM), サービスプラットフォーム (MSFT, AMZN, GOOG), OS, マイコン, ハードウェア (自動車部品)

注: GfResearch作成

自動運転は一つのサービスにすぎない

- 自動運転の究極の姿は鉄道のような公益サービス
- 自動車産業はハードを販売する形態からサービス業へ
- より多くのユーザーと接点（タッチポイント）を持つ者が有利
- 製造業からサービス業へ考え方をシフトすることが必要

AMD
Arista Management Design

モデルベースによる自動車制御開発 Part 1

首都大学東京/産業技術大学院大学
事業アーキテクチャ特論
日時：2016年5月28日（土）

有馬マネジメントデザイン株式会社
代表取締役社長 有馬 仁志

MBDIにおける2つのモデルと実機の関係

dSPACE

MBD: Model Based Development
RCP: Rapid Control Prototype
ACG: Automatic Code Generation
HIL: Hardware In the Loop

Model → Model (開発) → Model (検証) → RCP → HIL → 実機

ACG: Model → RCP

© Copyright 2014 by dSPACE

まとめ

dSPACE

- モデルベース開発 (MBD) とは？
- 実際に動作するモデルを仕様書として活用 (各フェーズでのモデルの共有)
- 各開発フェーズにおいてモデルを基に動作検証 (設計と検証)
- モデルベース開発のメリット
- 開発フェーズの大きな手戻りをなくす (早い開発フェーズでの検証)
- ヒューマンエラーの混入の機会を削減 (コーディングミス、仕様誤解釈)
- ラビッドコントロールプロトタイプによる早期ロジック検証 (プログラミングなし)
- 量産コード自動生成によるモデル出力に対する妥当性の確認 (MIL, SIL, PIL)
- HILシミュレータによる試験効率向上 (実機レス、自動テスト、再現テスト)
- ツールチェーン (大規模で複雑なシステムに対応)
- 仮想検証環境によるフロントローディング (VEOS)、データ有効利用 (SYNECT)
- 巨大化、複雑化するシステムの開発にモデルベース開発が有効です。モデルエンジニアを育て、より上流より設計、検証することにより、開発効率を向上できます。

© Copyright 2014 by dSPACE

3.4.5 経営戦略特論

企業経営・事業展開で必要とされる経営戦略の基本体系、経営思想、経営計画、事業戦略構築、組織戦略等を学ぶ。また、経営・事業の戦略の構築・実行・評価のための枠組み・手法を修得する。

経営環境と経営課題

新たな経営課題

- 経営のグローバル化
 - 強みは何か
 - 新興市場と先進国
- 第4次産業革命
 - 技術革新、新段階
 - サプライチェーン
 - IoT

グローバル/グループ経営の環境変化

- 取引
- 購買
- 販売
- 工数
- 株主
- 経営者
- 税務当局

各国間、事業部門、企業間、合併吸収、分離による境界の激変
 •組織間の取引の増大と複雑化
 •企業間受発注のEDI化、さらに伝票の標準化、EDIアカウンティング
 •IFRSの本格的な普及、取引の透明化、追跡
 •移転価格税制への対応

農業経営とICT

- 農業の大転換
 - 農業法人化
 - 大規模化と効率化
 - 勤と経験から事業継承
- 新たな販路
 - 農業は記憶から記録へ
 - 生産履歴は不可欠
- そうえん農場
 - アグリノート活用の生産履歴
 - 現場でタブレットに記入
 - 一粒のお米まで、どの田圃で作られたかがわかるMapとGPSの活用
- カガヤキ農園
 - 農業法人化
 - 若手の従業員
 - 直販店
 - ネット通販
 - クロネコヤマトとの連携

きれいな水を新興諸国へ、日本ポリグル

- 小田社長の信念とビジョン
 - 「世界の人々が安心して生水を飲むようにする」
- メキシコ、バングラディッシュ、タイなど新興諸国に簡易設置型水質浄化剤、装置の開発販売
- 「納豆から採取した粉末素材を網の目状に化学結合された粉。実際に京都の大きな池の水が1日で透明に綺麗になっていた」**
- 30名ポリグルレディチームが現地で販売

「ガイアの夜明け」
2009.12放送

BOP (貧困層) ビジネスとは

BOP = Bottom / Base of the Pyramid

所得水準	人口	年収
1日5ドル	1億人	年収20,000ドル
1日2ドル	20億人	年収2,000ドル
1日1ドル	約40億人 (世界人口の約65%)	年収730ドル
1日1ドル		年収365ドル

援助の対象 or 安価な生産拠点 ⇒ 40億人・5兆ドルの市場
 World Bank/2009-2010
 菅原秀幸氏作成